



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月19日

上場会社名 相模ゴム工業株式会社
コード番号 5194 URL <http://www.sagami-gomu.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大跡 一郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部部長 (氏名) 吉田 邦夫
定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 2023年6月29日
有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 046-221-2311

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	5,984	10.5	661	39.2	1,055	28.0	673	38.6
2022年3月期	5,414	3.1	1,088	7.1	1,466	43.0	1,097	83.5

(注) 包括利益 2023年3月期 1,133百万円 (22.5%) 2022年3月期 1,462百万円 (209.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	62.04		7.4	6.0	11.0
2022年3月期	101.10		13.7	9.0	20.1

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 1百万円 2022年3月期 3百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	18,148	9,947	53.2	889.52
2022年3月期	17,038	8,923	50.8	797.34

(参考) 自己資本 2023年3月期 9,657百万円 2022年3月期 8,656百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	898	184	422	1,849
2022年3月期	905	675	189	1,531

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期				10.00	10.00	108	9.9	1.4
2023年3月期				10.00	10.00	108	16.1	1.2
2024年3月期(予想)				10.00	10.00		27.1	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,050	7.7	400	1.2	350	64.4	210	73.4	19.34
通期	6,100	1.9	800	21.0	700	33.7	420	37.6	38.69

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料12ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	10,937,449 株	2022年3月期	10,937,449 株
期末自己株式数	2023年3月期	80,569 株	2022年3月期	80,419 株
期中平均株式数	2023年3月期	10,856,961 株	2022年3月期	10,857,218 株

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	5,904	1.7	1,080	6.9	1,130	7.1	756	9.6
2022年3月期	5,804	4.9	1,010	12.8	1,054	12.1	690	10.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	69.71	
2022年3月期	63.58	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	16,350	10,516	64.3	968.63
2022年3月期	15,917	9,828	61.7	905.27

(参考) 自己資本 2023年3月期 10,516百万円 2022年3月期 9,828百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
(1) 役員の異動	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の正常化も進み、景気は緩やかに持ち直しの傾向となりました。

一方、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格や原材料価格の高騰及び世界的なインフレ警戒感の高まりを背景とした、各国の金融の引き締めによる海外景気の下振れ懸念や欧米の一部金融機関の経営問題がクローズアップされる等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような先行きの見えない環境のもと、ポリウレタンコンドームの高品質を確保した継続的な安定生産やさらなる増産、そしてグローバルマーケットへの深耕を目指し事業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当連結会計年度において売上高は5,984百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は661百万円（前年同期比39.2%減）、経常利益は1,055百万円（前年同期比28.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は673百万円（前年同期比38.6%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業の国内売上高は、9月に上市した新商品のサガミオリジナル0.01（ゼロゼロワン）ラージの販売により着実に売上を拡大しております。また、海外売上ではサガミオリジナルシリーズがインバウンドの剥落を補うべく、持続的に伸長しています。

この結果、売上高は4,475百万円（前年同期比10.6%増）となりましたが、マレーシア工場でのエネルギー等のコスト増により、営業利益は1,084百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

プラスチック製品事業

プラスチック製品事業は、販売価格の改定等や見積もり依頼件数が増加し、売上高は伸長しました。不採算製品群の見直しや効率的な計画生産による製造コストの削減に注力しましたが、材料費の高騰や電力費等の上昇が引き続き収益を圧迫しました。

この結果、売上高は1,281百万円（前年同期比11.1%増）、営業損失は24百万円（前年同期は営業利益44百万円）となりました。

その他

入浴・介護サービス及びその他の事業の売上高は227百万円（前年同期比6.3%増）、営業損失は67百万円（前年同期は営業損失72百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産の残高は18,148百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,109百万円増加しました。現金及び預金が318百万円、電子記録債権が298百万円、建物及び構築物が323百万円、機械装置及び運搬具が210百万円増加しました。

(負債)

当連結会計年度末における負債の残高は8,200百万円となり、前連結会計年度末と比較し85百万円増加しました。未払法人税等が64百万円増加しました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は9,947百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,024百万円増加しました。利益剰余金が564百万円、その他有価証券評価差額金が39百万円、為替換算調整勘定が396百万円増加しました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.4ポイント増加し53.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ318百万円増加し、1,849百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動により獲得した資金は、898百万円（前年同期比0.7%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が1,055百万円、減価償却費が613百万円あったものの、売上債権の増加が225百万円、仕入債務の減少が505百万円、法人税等の支払額が310百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動により使用した資金は、184百万円（前年同期比72.6%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が185百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動により使用した資金は、422百万円（前年同期比122.3%増）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が498百万円、長期借入金の返済が811百万円、配当金の支払が108百万円あったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	43.1	46.7	50.8	53.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	94.2	77.6	47.9	49.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (倍)	4.6	4.6	7.2	7.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	21.6	31.0	19.2	10.7

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により計算しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の国内及び世界経済につきましては、原料・エネルギー高やインフレ圧力による世界的な金融引き締めによる景気下振れ懸念、ウクライナ情勢の動向等のリスク要因も多く、先行きは不透明な状況となっています。

このような環境の中、主力のヘルスケア事業においては水際対策緩和後のインバウンド需要に明るい兆しがあり、消費行動には多様性が見られるものの、一人当たりの消費額は増加しています。

当社グループの次期連結業績見通しにつきましては、依然として原材料価格高止まりやエネルギー価格の上昇等が当社グループの業績に影響を及ぼしている状況は続いており、予断を許しません。

以上により、通期の連結業績見通しは、売上高6,100百万円、営業利益800百万円、経常利益700百万円、当期純利益420百万円を予想しております。

なお、上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

修正が必要となりました場合には速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,531,378	1,849,736
受取手形	102,771	87,198
売掛金	908,552	877,488
電子記録債権	884,334	1,182,455
棚卸資産	1,931,057	2,117,466
その他	239,382	101,465
貸倒引当金	△32,201	△21,341
流動資産合計	5,565,276	6,194,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,687,382	4,115,472
減価償却累計額	△1,604,454	△1,709,144
建物及び構築物（純額）	2,082,928	2,406,327
機械装置及び運搬具	11,898,585	12,906,830
減価償却累計額	△4,504,961	△5,302,802
機械装置及び運搬具（純額）	7,393,624	7,604,027
土地	1,056,771	1,068,806
建設仮勘定	140,839	40,919
その他	262,954	288,175
減価償却累計額	△202,199	△218,996
その他（純額）	60,755	69,178
有形固定資産合計	10,734,919	11,189,260
無形固定資産	13,392	10,321
投資その他の資産		
投資有価証券	465,140	522,175
繰延税金資産	159,187	133,306
退職給付に係る資産	7,336	7,446
その他	95,524	92,659
貸倒引当金	△2,215	△1,264
投資その他の資産合計	724,973	754,322
固定資産合計	11,473,285	11,953,904
資産合計	17,038,562	18,148,373

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	262,037	184,831
電子記録債務	243,081	271,582
短期借入金	5,281,773	5,454,857
未払法人税等	155,359	220,252
前受金	32,483	39,126
賞与引当金	76,926	74,753
その他	329,833	475,821
流動負債合計	6,381,494	6,721,225
固定負債		
長期借入金	1,216,834	952,913
長期預り保証金	3,100	2,000
退職給付に係る負債	90,698	82,393
役員退職慰労引当金	417,157	437,048
資産除去債務	5,390	5,399
その他	837	-
固定負債合計	1,734,017	1,479,754
負債合計	8,115,511	8,200,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,436	547,436
資本剰余金	676,518	676,518
利益剰余金	7,998,472	8,563,418
自己株式	△35,879	△35,995
株主資本合計	9,186,547	9,751,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192,525	232,115
為替換算調整勘定	△722,379	△326,063
その他の包括利益累計額合計	△529,854	△93,948
非支配株主持分	266,357	289,963
純資産合計	8,923,050	9,947,393
負債純資産合計	17,038,562	18,148,373

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	5,414,759	5,984,735
売上原価	3,175,614	4,092,190
売上総利益	2,239,144	1,892,544
販売費及び一般管理費	1,151,071	1,231,276
営業利益	1,088,073	661,268
営業外収益		
受取利息	1,717	1,730
受取配当金	17,653	19,965
作業くず売却益	8,817	8,671
不動産賃貸料	2,553	2,181
助成金収入	-	5,164
為替差益	375,170	434,472
その他	21,321	11,702
営業外収益合計	427,233	483,888
営業外費用		
支払利息	41,725	84,273
持分法による投資損失	3,452	1,026
その他	3,791	4,139
営業外費用合計	48,970	89,439
経常利益	1,466,336	1,055,718
特別利益		
固定資産売却益	174	274
受取保険金	124,345	-
特別利益合計	124,519	274
特別損失		
固定資産除売却損	1,008	87
火災による損失	129,698	-
特別損失合計	130,707	87
税金等調整前当期純利益	1,460,148	1,055,905
法人税、住民税及び事業税	334,844	373,603
法人税等調整額	15,086	9,831
法人税等合計	349,930	383,435
当期純利益	1,110,218	672,470
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	12,548	△1,045
親会社株主に帰属する当期純利益	1,097,670	673,516

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,110,218	672,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,263	39,589
為替換算調整勘定	343,033	417,029
持分法適用会社に対する持分相当額	2,768	3,939
その他の包括利益合計	352,064	460,558
包括利益	1,462,283	1,133,028
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,430,957	1,109,422
非支配株主に係る包括利益	31,325	23,606

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	547,436	676,518	7,009,376	△35,455	8,197,875
当期変動額					
剰余金の配当			△108,574		△108,574
親会社株主に帰属する当期純利益			1,097,670		1,097,670
自己株式の取得				△423	△423
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	989,096	△423	988,672
当期末残高	547,436	676,518	7,998,472	△35,879	9,186,547

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	186,261	△1,049,403	△863,141	235,031	7,569,765
当期変動額					
剰余金の配当					△108,574
親会社株主に帰属する当期純利益					1,097,670
自己株式の取得					△423
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6,263	327,023	333,286	31,325	364,612
当期変動額合計	6,263	327,023	333,286	31,325	1,353,284
当期末残高	192,525	△722,379	△529,854	266,357	8,923,050

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	547,436	676,518	7,998,472	△35,879	9,186,547
当期変動額					
剰余金の配当			△108,570		△108,570
親会社株主に帰属する当期純利益			673,516		673,516
自己株式の取得				△115	△115
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	564,946	△115	564,830
当期末残高	547,436	676,518	8,563,418	△35,995	9,751,378

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	192,525	△722,379	△529,854	266,357	8,923,050
当期変動額					
剰余金の配当					△108,570
親会社株主に帰属する当期純利益					673,516
自己株式の取得					△115
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	39,589	396,316	435,906	23,606	459,512
当期変動額合計	39,589	396,316	435,906	23,606	1,024,342
当期末残高	232,115	△326,063	△93,948	289,963	9,947,393

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,460,148	1,055,905
減価償却費	497,742	613,308
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△825	△11,813
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,436	△2,173
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△9,930	△8,891
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	19,891	19,891
受取利息及び受取配当金	△19,370	△21,696
支払利息	41,725	84,273
為替差損益 (△は益)	358	27,336
持分法による投資損益 (△は益)	3,452	1,026
有形固定資産除売却損益 (△は益)	833	△187
売上債権の増減額 (△は増加)	188,295	△225,864
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△389,581	△48,041
仕入債務の増減額 (△は減少)	△297,575	△505,867
その他	△201,133	294,630
小計	1,292,596	1,271,836
利息及び配当金の受取額	19,166	21,901
利息の支払額	△47,247	△84,126
法人税等の支払額	△359,198	△310,736
営業活動によるキャッシュ・フロー	905,316	898,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△673,244	△185,982
有形固定資産の売却による収入	26	274
投資有価証券の取得による支出	△1,295	△1,394
無形固定資産の取得による支出	△1,765	△950
貸付金の回収による収入	520	3,190
投資活動によるキャッシュ・フロー	△675,759	△184,862
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	502,352	-
長期借入れによる収入	530,200	498,400
長期借入金の返済による支出	△1,112,311	△811,565
自己株式の取得による支出	△423	△115
配当金の支払額	△108,363	△108,495
その他	△1,350	△351
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,896	△422,127
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,137	26,473
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	56,797	318,357
現金及び現金同等物の期首残高	1,474,580	1,531,378
現金及び現金同等物の期末残高	1,531,378	1,849,736

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響)

新型コロナウイルス感染症の影響は一定期間継続し業績に影響を及ぼす可能性があるものの、現時点において会計上の見積りに重要な影響を与えるものではないと判断しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は不確定要素が多く、翌連結会計年度の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、各セグメントへの経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ヘルスケア事業」と「プラスチック製品事業」の2つを基本に事業を営んでおり、事業部単位で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「ヘルスケア事業」及び「プラスチック製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ヘルスケア事業」は、コンドーム、医療用ゴム製品及び生活自働具等を製造・販売しております。「プラスチック製品事業」は、食品用包装フィルム及び事務用ファイル等を製造・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に記載のとおりであります。

なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	ヘルスケア 事業	プラスチッ ク製品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じ る収益	4,047,271	1,153,906	5,201,177	213,581	5,414,759	—	5,414,759
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,047,271	1,153,906	5,201,177	213,581	5,414,759	—	5,414,759
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,047,271	1,153,906	5,201,177	213,581	5,414,759	—	5,414,759
セグメント利益又は損失 (△)	1,458,335	44,903	1,503,239	△72,487	1,430,752	△342,678	1,088,073
セグメント資産	14,527,045	942,887	15,469,932	235,609	15,705,541	1,333,020	17,038,562
その他の項目							
減価償却費	464,215	13,693	477,909	9,512	487,421	10,321	497,742
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	766,873	10,056	776,929	704	777,633	3,208	780,842

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、巡回入浴等のサービスや日用雑貨品等を製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表計上額 (注)3
	ヘルスケア 事業	プラスチック 製品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,475,922	1,281,713	5,757,635	227,100	5,984,735	—	5,984,735
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,475,922	1,281,713	5,757,635	227,100	5,984,735	—	5,984,735
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,475,922	1,281,713	5,757,635	227,100	5,984,735	—	5,984,735
セグメント利益又は損失 (△)	1,084,799	△24,793	1,060,006	△67,136	992,869	△331,601	661,268
セグメント資産	15,166,583	963,933	16,130,517	276,917	16,407,434	1,740,938	18,148,373
その他の項目							
減価償却費	579,465	14,010	593,476	8,866	602,343	10,965	613,308
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	177,012	9,619	186,631	2,665	189,297	4,506	193,803

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、巡回入浴等のサービスや日用雑貨品等を製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	797.34円	889.52円
1株当たり当期純利益	101.10円	62.04円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,097,670	673,516
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,097,670	673,516
期中平均株式数(千株)	10,857	10,856

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表者の変動 (2023年6月28日予定)

退任予定代表取締役

代表取締役専務 武田 雅貴

② その他の役員の変動

該当事項はありません。